

施設のあらまし

埼玉朝日園は、「身体に障害がある為就労することが困難な方達の社会復帰の助長に努める、明るく、楽しい魅力あふれる施設を創造する」という理念のもとに昭和57年4月1日に身体障害者授産施設として開園いたしました。開園当初は入所事業のみでしたが、現在は定員生活介護入所30名、通所5名、就労継続B型15名となっております。当園の建つこの深谷市は、冬には白鳥も飛来する、緑あふれる自然の宝庫でもあります。ここでは、授産活動を通して社会復帰に向けた活動を行います。また、日常生活についても、できることは自分でという利用者の自主性を尊重した体制をとっています。さらに、園の通年行事として、様々な活動に職員、利用者ともに一丸となって取り組んでいます。



概要

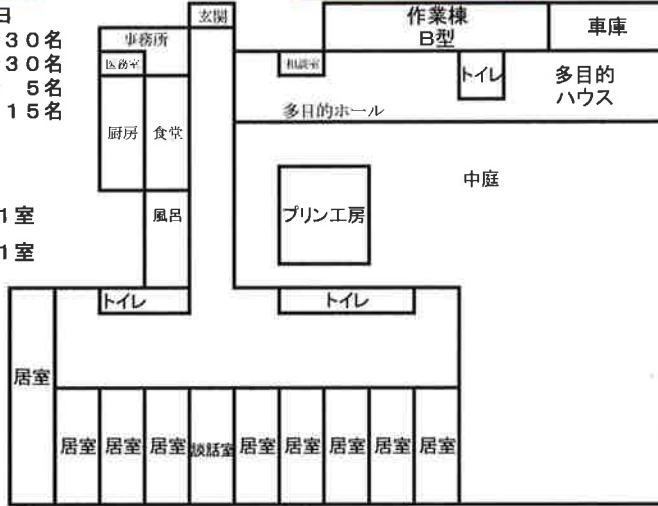
設置：昭和57年4月1日
 定員：施設入所支援 入所30名
 定員：生活介護 入所30名
 定員：生活介護 通所 5名
 定員：就労継続B型 15名

居室：4人部屋・・6室
 2人部屋・・3室

浴室：1室 医務室：1室

食堂：1室 談話室：1室
 機能訓練室：1室

施設平面図



障害者支援施設 埼玉朝日園の歩み

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	障害程度区分	H24	H25	H26
1級(人)	20	19	18	17	17	17	18	18	18	18	17	6	1	2	1
2級(人)	18	19	19	19	19	19	18	18	18	17	17	5	4	5	5
3級(人)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	17	15	19
4級(人)	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	3	15	15	10
5級(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	5	5	5
6級(人)	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計(人)	45	45	45	43	43	42	42	42	42	43	42	合計(人)	42	42	40
重度構成率(1・2級)	84.0%	84.0%	82.0%	84.0%	83.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	平均区分	3.55	3.62	3.68

活動紹介

就労継続B型

この朝日園では一日の大半は、互いに協力をしながら作業を行っています。作業時間は9:00から16:00までとなっております。作業だけでなく準備や片付け、掃除に至るまで分担行っています。作業の内容としては、作業棟にて箱の組立、味料の袋詰め、製本メダカの養殖、農作物の収穫などを行っています。これらの他に自主生産品として、各人の特技を生かした製品作りも行っています。和紙工芸による小物入れや和ダンス、縫製作業によるティッシュケースやエプロン、手下げバックなどです。これらは施設内で販売しているほか、町内の行事などでも販売しています。また、町内・県内行事への参加を積極的に行っています。地域との関わりを深め、自立に向けた社会性の獲得とその向上を目的として行っています。

生活介護

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排泄及び食事の介護の提供、創作的活動又は生産活動の機会の提供、身体機能及び日常生活の維持向上のための支援の提供を行っています。日中活動としては機能訓練などの歩行訓練や市内の道路のゴミ拾い活動、施設内、居室などの掃除、生活訓練企業からの受注作業等の生産活動、農作物の収穫や手芸などの創造活動を行っています。また、個々の希望に応じた個別活動、個別課題を念頭において日々、生活を送っています。



●授産計画

科目	班名	定員
民芸	磨き	1
	和紙工芸	2
製本	折り、丁合、糸とじ	4
	はとめ、表紙	1
縫製縫物	縫製、あみもの	1
軽作業	電気部品組立、箱作り、組立	6
		5
技特能殊	調理実施タイプ	7
		5
		30

目標	作業工賃	授産処遇計画の基本
就職	当初、一人当たり月手取り15000円とし、収入増を目指します。	「利用者の識能に合った職業訓練の場を提供する事が就労継続B型である。」という認識に基づき、 1. 現有能力と開発可能能力を見極めるため、資料収集、能力テストを行う。 2. 上記成果を分析し、訓練科目、目標、方法、期間など定める。 3. 計画を立案・実施し、評価する。
	未定	